

議会報編集委員会記録

1 日 時 令和5年5月25日（木曜日）
開 会 午前 9時30分
閉 会 午前 9時57分

2 場 所 議会会議室

3 出席委員 9人
委員長 豊岡達郎
副委員長 藤田克樹
委 員 柏佳枝
// 飯山勝彦
// 田辺裕三
// 舎川智也
// 江西照康
// 東 篤
// 谷口寿一

4 欠席委員 1人
委 員 吉田 修

5 職務のために出席した者

【議会事務局】

議事調査課長	坂 口 輝 之
議事調査課長代理	酒 井 優
議事調査課調査係長	谷 端 裕美子
議事調査課主査	白 山 江梨花
議事調査課主査	牧 石 真 理
議事調査課主任	田 伏 由 佳
議事調査課主事	北 森 俊 成

6 協議結果について

- とやま市議会だよりに寄せられた意見・要望について
フォント、文字、レイアウト等について、今後調査、検討していくこととする。

7 会議の概要

委員長 ただいまから、議会報編集委員会を開会いたします。吉田委員より都合により欠席するとの連絡がありました。

 協議に先立ち、委員会記録の署名委員に、舎川委員、江西委員を指名いたします。

 本日の協議事項は、「とやま市議会だよりに寄せられた意見・要望について」であります。

 とやま市議会だよりにつきましては、平成28年度から平成30年度にかけて、表紙及びレイアウト等について大きな変更を行った後も、よりよい誌面とするために、協議と検討を重ね、細かな修正を繰り返して現在のレイアウトになりました。

 その結果、市民からも「市議会の動向や議員の意見が詳しく書かれていて分かりやすい」「見やすくなった」というお声をいただくようになるなど、現在のレイアウトは、一定程度定着してきたものと考えております。

 一方で、市議会だよりアンケートでは、依然として「文字が小さくて読みづらい」などといった声も寄せられております。

 そこで、今後、分かりやすく読みやすい議会報としていくため、誌面の見やすさに焦点を当て、委員の皆さんから具体的な御意見、御提案をいただきたいと思っております。

 それでは、御意見をどうぞ。

藤田委員 今回、アンケートの結果を受けて、谷口委員から提案されてこういった場を設けられたと思っています。先ほど委員長のほうから、見やすくなってレイアウトはもう一定程度定着してきたものであるということと、その一方では、文字が小さく読みづらいというような御意見もいただいているというお話がありました。市民の皆さんが、とやま市議会だよりを見て、どのように感じられてこういったことを言っておられるのか、本当の声に耳を傾ける必要があるのではないかと思っております。

その中で、今回のとやま市議会だよりアンケートの結果を受けて、この市議会だよりを、もっと未来を見据えた上で検討していくいい機会になるのではないかと私は思っております、10年後、20年後、デジタル化が進んでいく中で、とやま市議会だよりがどうあるべきかということを検討できればと思います。

例えばですけれども、市議会だよりを検討していく上で、今、デジタル版というものを作っております。誌面とデジタル版のハイブリッドで動いている状態です。こういったアンケートの結果一声を、デジタル版で拾えるところはデジタル版で生かし、誌面は誌面でいいところをもっと伸ばしていくべきではないかと思っております、そういった議論を活発にしていくなることが必要ではないかと思うのであります。そういった中で意見交換ができればと思っております。

田辺委員

45件のアンケート結果を見させていただいて、いろいろな意見が書いてあるなど。いいところも書いてあるし、ちょっとまだ改善が必要だということも書いてあると思えました。私としては、議員の質問の内容に関しては簡潔明瞭で非常にいいと思えますが、委員会のところが、ちょっと字が小さくて見づらいのかなと感じられるので、答弁を絞るなど工夫して、文字がもう少し大きくなるように編集していただけたらいいのではないかと。

あと、イラストや写真を何か入れたり、文字のフォントを変えるとというのもまた1つかなという感じがします。

柏委員

今回のアンケートに関して、とてもたくさんの方の意見を市民の皆さんがくださったということで、そのアンケートでいただいた声についてしっかりとみんなで考えていくいい機会になったと思えます。前回の本委員会の際に頂いた白黒で印刷された市議会だよりと製本された市議会だよりを見比べると製本された市議会だよりは文字の色が青になってい

て、ちょっと見づらいので、黒のほうが目に優しく見やすいと感じました。

文字を青にされている理由を教えてくださいたらと思うのですけれども、いかがですか。

委員長 色について、事務局より答弁をお願いします。

議事調査課長 手元にある過去の議会報を見ていますと、この色をずっと使っているのですけれども、この色を使うことになった理由については今、手元に資料がございませんので、また戻って調べさせていただき、何か分かれば御説明したいと思います。

谷口委員 今、柏委員からあったとおり、確かにこれを黒にすればもうちょっとはっきりするのかなと思います。以前、このフォントをユニバーサルデザインに変えたなど、いろいろな経緯はあるのですが、そのときに何で色に気づかなかったのかなという思いはあります。色を変えるのであればお金もかからないし、できることは1回やってみるという方向で考えてもいいのかなと思います。

何で青になったのかという調査は必要かもしれないのですけれども、多分大した理由はないと思うので、やっぱり変えられるところは早急に変えていくというのが、この委員会の在り方かと思います。

藤田委員 先ほど言われたように、ユニバーサルデザインのフォントにも多種多様なものがあるのですが、以前、そのフォントのサンプルみたいなものは作れないのかと事務局の方と相談していたのですけれども、事務局は今そういうものは持っておられますか。

議事調査課長 今、藤田委員がおっしゃいましたようなユニバーサルデザインに基づいたフォントのサンプルについて、幾つかのタイプ別にしたものを事務局で作りましたので、今、資料を配付させていただいてもよろしいでしょうか。

- 委員長 はい、お願いします。
- 事務局 〔資料を配付〕
- 委員長 説明をお願いしてもよろしいですか。
- 議事調査課長 まず、サンプル1では、UD新丸ゴシックBやUD新丸ゴシックDBというものなど、幾つかの種類のフォントで業者に作っていただきました。サンプル2も同じでございます。サンプル3については、一般質問のところを4種類のフォントで作ってみたものでございます。
事務局でも、これを見てどのフォントがいいのかと言われると、人それぞれの感覚もあるかなとも思うのですけれども、実際、少し見やすく感じるかなと思われるものも中にはあると思いますので、その辺を委員の皆様で御検討いただいて、必要であれば、そのように変えてみるということもできるのではないかと考えております。
- 委員長 UD新丸ゴシック、ゴシックMB101、スキップ、黎ミンという4種類がございます。
御意見はありますか。
- 江西委員 今、ここで文字の書体の例が出たのですけれども、書体の読みやすい、読みにくいという感覚は、人それぞれで差があると思います。例えば、もともと文字の認識ができないという人もいて、それを科学的に誰でも読める書体に近づけていったものが教科書体なのだということを、この前、テレビの特集か何かで見たのです。つまり、文字を認識できない人にも読める書体にするなど一せっかく議論するのなら、その科学的な背景なくして、私の好みはこれだからどうのこうのと議論することに果たして意味があるのかということもあります。
今日、書体の話題になるとは思っておらず、書体について勉強してきていなかったのですが、今はその1点しか言えないのですけれども、せっかく集まって意

見を言うのであれば、もうちょっと科学的に議論すべきではないかと思うのです。

谷口委員 今言われた書体に関しても、見比べれば違いが分かるという程度で、ではどれが一番見やすいのかと言われても、なかなか分からないと。文字を見やすく変えていくということは、フォントの書体もそうですけれども、フォントの大きさもあるのではないかと思います。先ほど言われたように、委員会報告など明らかに文字が小さいページがあるので、その扱いをどうしていくのかということをもまず議論したほうが早いかなと思うのですけれども、いかがですか。

東委員 関連して、文字の大きさについて、とりわけ委員会のページが小さいのではないかという意見が幾つか出ておりました、今の文字量をキープして、そしてフォントを大きくするとすれば、当然、誌面のページ数が増えていくということにもなると思うのです。そういうことになると、予算の関係もあるので一先ほど藤田委員のほうから、将来、未来を見据えてということもありましたが一本年度は無理だと思うのですが、来年度以降はページ数を増やすということも念頭に入れて議論をしていけばどうかと思います。

藤田委員 今の東委員のお話を受けて、私が思っている未来の話をしつらさせていただきますと、この市議会だよりのデジタル版につきましては、内容を濃いものにするべきだと思うのです。今の東委員の話と同意見ということです。

ただし、誌面につきましては、どうしてもコストがかかるだとか、見づらい、見やすいなど、いろいろな方々の意見をいただくようなものですので、内容を吟味して、引き算で考えた上で、シンプルなものにしたダイジェスト版のようなものを考えていくべきではないかと思います。そういったことを見据えた上で考えてはどうかと思うのです。

- 委員長 将来的にということですか。
- 藤田委員 はい。いきなり変えることは難しいと思いますので、将来的に、そういった方向に向けて、今年度は議論を進めていけばいいのではないかと考えております。
- 谷口委員 誌面をやめるというのはなかなか難しい話なので、誌面は続けていけばいいのですけれども、藤田委員から言われたように、今、いろいろなところでパーレス化が進んでいる中で、ウェブ版も持っているということであれば、紙媒体の内容を少し軽量化して、今言われたダイジェスト版のようなものにして、あとはホームページのほうへ誘導するという取組を今後検討していてもいいのかなと。ただ、これは、今ここで言ったからといってすぐにできる話ではないので、検討課題として上げていかればよいと思います。
- 委員長 検討課題として、ネット上では細かく、紙ではシンプルにという意見でございます。
- 東委員 検討課題ということで、先ほど私が誌面のページ数を増やすということを申し上げたのは、デジタル版ではページ数を増やせると思うのですが、やはり市民の中には、パソコンを持たずデジタル版を見られないという、とりわけ年配者の方もまだまだいると思うのです。誌面上では簡略化していったら、その分デジタル面で量を補うという方向でいいのかどうかということについて、もう少しいろいろな年代の市民の意見を聞く必要があると思います。
- 委員長 目指すべきところは、時代の流れというところと、課題がいろいろあるということだと思います。あと、田辺委員からいただきました、委員会のページの文字が小さいのではないかとという意見ですけれども、確かに、一般質問等のページと比べるとフォントが小さく、内容も陳情のことを細かく入れたり

しているのですが、この御意見について何かありませんか。

谷口委員 これに関してはできるだけ多くの情報を載せて、どういう内容だったのかということをお知らせするのは確かに必要なことだとは思いますが、載せれば載せるほど見にくくなるということで、まずは内容を減らしてスペースを確保し、一般質問のページのフォントぐらいまでに大きさを上げていくことが必要なのかなと。
あと、委員会によって文字量のばらつきがものすごく大きいので、内容を吟味して4分の1ずつ載せていくことなども検討していいのかなと思います。

藤田委員 もう1点、デジタル版の話になるのですが、先ほど柏委員から文字を黒にした方がいいのではないかといった話が出ていたのですが、誌面ですと、恐らくコストの関係で単色刷りになっていると思っています。デジタル版ですと、そういったコストの面はほぼ意識しなくてもよくなりますので、デジタル版におきましては、ぜひともカラーで進めていくことを検討していただきたいと思います。

委員長 デジタル版の件につきましては、また検討するということにします。
今、谷口委員からもしました委員会の部分の文字に関しましては、フォントの大きさは一般質問と同じぐらいにするということと、委員会ごとに文字量を4分の1ずつにするとなると、記事の内容の検討が必要だと思うのですが、編集しておられる事務局としては、そういった対応は可能でしょうか。

議事調査課長 まず予算決算委員会の部分につきましては、予算案件ですので、何らかの質疑、やり取り等があって、分科会長報告にも載せることができると考えております。基本的にその分科会長報告がこのページに載りますので、予算決算委員会については、例えば総

務文教分科会が3つぐらいのやり取りがあって、ほかの分科会が1つずつなどになると、谷口委員が言われたようなことも考えられます。予算決算委員会の分科会長報告については、とりあえず個数を限定してみるということにはできるかなと思っています。常任委員会の報告になりますと、委員会によっては、やり取りがなくて、簡易的な委員長報告になるものがあるなど、各委員会でのやり取りによって掲載する内容がその都度異なってきますので、常任委員会については、それぞれ4分の1ずつということも、もしかしたら難しいかもしれません。逆に言いますと、予算決算委員会の中での分科会長報告については、今後、一定程度4分の1ずつを目安にしてみるということ念頭に置きながら編集してみるということは可能ではないかなと思っています。

委員長 内容を精査して、対応できる可能性があるということなので、一度サンプルを見てみんなで検討したいと思います。
あと、フォントと色の件ですけれども、せっかくでするので、次回、例えば色を黒にするということについて反対の方はいらっしゃいますか。

江西委員 反対というわけではないけれども、何かしらの意味があって印刷会社が文字を青色にしている可能性があるかもしれないので、印刷会社の見解も踏まえた上で、次回議論する必要があると思います。

谷口委員 今、江西委員が言われたとおり、事務局のほうでちょっと経過を調べてもらって決めていけばいいと思います。
そもそも「広報とやま」は黒ではなかったかなと思うので、問題ないかと思うのですが。

委員長 では、調査して、青でなければいけないという特別な理由がございましたら差し止めにしますけれども、正・副委員長で決めてよろしいでしょうか。

- 谷口委員 それも次の編集委員会で決めればいいのではないで
しょうか。
- 委員長 では、次の編集委員会で科学的な根拠も出していた
だき、議論したいと思います。
あと、書体ですが、微妙な違いなのですけれども、
せっかくなので。
UD新丸ゴシックかゴシックMB—UD新丸ゴシッ
クのほうがちょっと太いような気がします。ゴシッ
クMBはちょっと細めのような感じがするのですけ
れども、スキップは……
- 飯山委員 何が違うのか明確に説明してもらわないと、何を見
ても一緒にしか見えないのですけれども、何か説明
できますか。
- 議事調査課長 飯山委員の御指摘のことですけれども、こちらのフ
ォントはどういう特徴があるのかということにつ
いては、印刷業者に確認させていただくとともに、先
ほど江西委員がおっしゃいました書体についても、
業者の見解なども教えていただきながら、次の委員
会のときに御報告させていただきたいと考えており
ます。
- 委員長 それでは、ほかにございますか。
- 谷口委員 全く別の観点になるのですが、例えばこの市議会だ
よりのアンケートを今取り上げましたけれども、こ
のようなことを市民に呼びかけて、どこかで公開の
討論会を行うことによって、市民の生の声を面と向
かって聞くような機会をつくれたなら、いい方向に
進んでいくのではないかと思っております。これは
提案です。
- 江西委員 本当にその他ですけれども、今日私はタブレットを
持ってきているのですが、資料が何もタブレットに
入っていないわけですよ。
委員長、ぜひとも事前にタブレットに今日の審議資

料なども入れてもらいたいと思います。次回はお願
いします。

委員長 ほかにございますか。

〔発言する者なし〕

委員長 それでは、ないようなので、この程度にとどめます。
フォントと文字の色については、科学的な根拠も含
めて調査するということと、フォントの違いにつ
いては次回報告すると。それと、デジタル化、将来
に向けてのダイジェスト版等については今後の検討
事項とするということ。それと、市民の声を聞ける
場をつくるのかどうかということを検討事項とし
ます。今回出された御提案については、確認が必
要なものについては事務局に確認させ、各会派に
おいて意見集約が必要なものについては、一度持
ち帰っていただき、まとまった御意見を次回の委
員会にて報告していただいた上で、引き続き検討
していきたいと考えております。
そのように進めることとして、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長 それでは、そのように決定いたします。
なお、市議会だよりアンケートに寄せられたその
他の御意見についても絶えず配慮し、よりよい誌
面づくりに努めてまいりたいと思っておりますので
、委員の皆さんの御協力もよろしくお願いいたし
ます。
これで本日の協議事項は終了いたしました。
最後に、連絡事項を申し上げます。
去る5月8日に開催されました各派代表者会議
において決定されましたとおり、今後、議会報
編集委員会の開催通知や、とやま市議会だより・
ウェブ速報版の公開についてのお知らせ等は、チ
ームズで行いますので、御承知おきください。
これをもって、本日の議会報編集委員会を閉会
いたします。

議会報編集委員会 記録署名

令和5年5月25日

委員長 豊岡達郎

署名委員 舎川智也

署名委員 江西照康